

鉛製給水管について

○朝一番の水は飲用以外に使用しましょう。

お客さまには、水質基準をクリアした安全な水をお届けしていますが、給水装置に鉛製給水管を使用しているご家庭では、朝一番の水や長時間使用していなかった水に、ごくわずかな鉛が溶け出していることがあります。

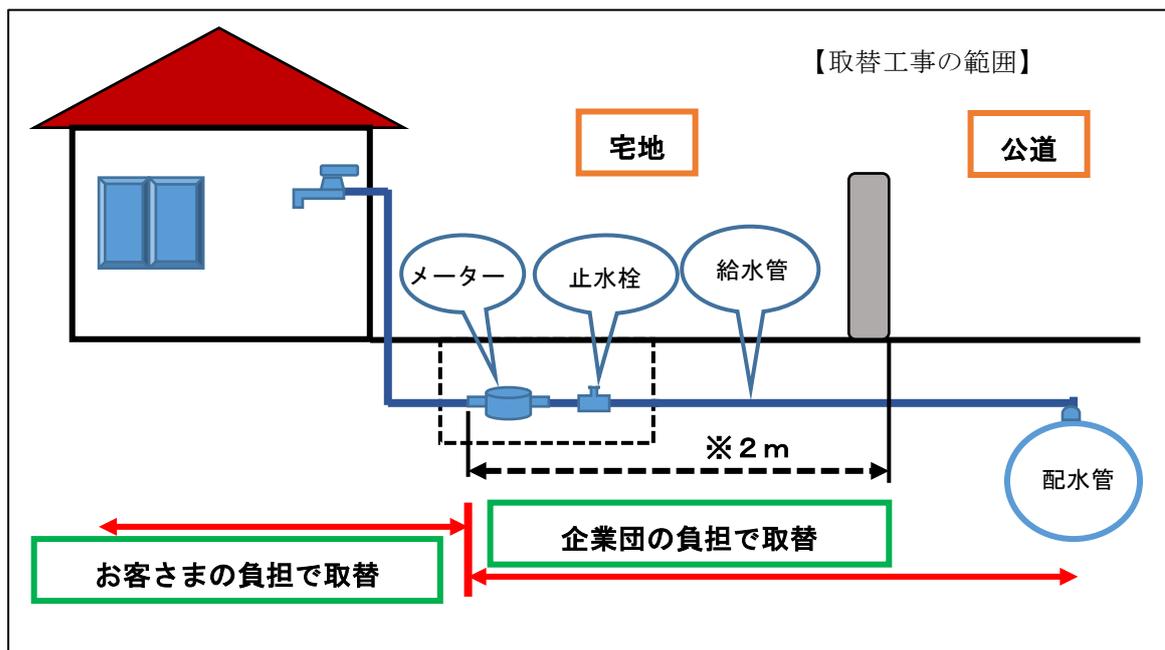
念のため、使い始めのバケツ一杯程度の水は、飲み水や料理以外の洗濯やトイレ等に使用することをお勧めします。

また、浄水器を使用している場合でも、使い始めの水は飲み水以外に使用することをお勧めします（※取扱説明書の注意を守って使用してください。）。

鉛製給水管は、加工・修繕が容易であるという特性のため古くから使用されてきました。

企業団では、漏水防止の観点から昭和55年以降は新たに鉛製給水管を布設する工事を禁止しています。

また、鉛製給水管を解消するため、配水管の布設替工事や給水装置改造工事などに併せて、一部企業団の負担で鉛製給水管の取替工事を行っています。



※メーターが道路境界から2メートル（管延長）以内に設置されている場合。2メートルを超える場合は、超過分がお客さまの負担となります。